

みんなで作ろう！図書館、文化ホール、郡中地区公民館 建設市民ワークショップ通信

発行：伊予市役所総務部庁舎建設課 TEL：089-982-1111 内線581・582

全体スケジュール

2月22日（日）の午後、郡中地区公民館にて、第8回「みんなで作ろう！図書館、文化ホール、郡中地区公民館建設市民ワークショップ※1」を開催しました。最初に（株）山下設計から、基本設計最終案を説明し（p2～）、それに対する質問を受けました。そして市役所から、計画のスケジュール変更についてご報告をし（p3～）、さらに質問やご意見を伺いました。その後、実施設計に向けて気になる点をポストイットに書き出さいただき、一枚ずつ確認しながら、検討事項を洗い出しました（p7～）。最後に、今後の進め方も含めて感想カードをお書きいただき（p11～）、第8回のワークショップを終了しました。

今回は、建物正面の広場（臨時駐車場）の計画について、設計者からの提案がありました。駐車場台数やイヨカフェの遮音、ホールの客席の大きさ、各室の利用料金、喫煙スペースの設置など、残された多くの問題は、施設の運営に関わっており、建設市民ワークショップの中だけでは結論が出せないことが多く残されています。残された2回のワークショップでは、こうした問題の他に、まちなかの拠点としてこの施設がどのような可能性を持っているか、話し合いたいと考えています。よろしくをお願いします。

<プログラム>

- 1：はじめに
- 2：基本設計最終案を報告します
- 3：オープンまでのスケジュールを確認します
- 4：何でも質問タイム
- 5：実施設計に向けた検討事項を洗いだそう
- 6：全体で実施設計に向けた検討事項を確認していきます
- 7：実施設計検討の進め方を提案します
- 8：まとめと感想カード

基本設計

- 第1回 2014.6.22(日)**
・まちと施設の素敵な関係を考えよう！
- 第2回 2014.7.13(日)**
・文化活動の現状を知り、3つの施設空間の検討課題を考えよう！
- 第3回 2014.8.31(日)**
・3つの施設空間の提案を確認し、「文化ホール」についてじっくり考えよう！！
- 第4回 2014.9.21(日)**
・文化ホールの魅力づくりと運営を考えよう！
- 第5回 2014.10.19(日)**
・図書館と公民館について考えよう！
～複合施設のあるべき姿を考える～

- 第6回 2014.11.9(日)**
・図書館と公民館について考えよう！
パートII
- 第7回 2014.11.30(日)**
・基本設計案を現地で原寸確認しよう！
※8月10日中止による振替

実施設計

- 第8回 2015.2.22(日)**
・基本計画案を最終確認し、実施設計の検討事項を話し合おう！
- 第9回 2015.3.22(日)**
・実施設計に向けた変更事項を検討しよう！
・まちなかの拠点となる施設のあり方を考えよう！ パートI
- 第10回 2015.5月開催予定**
・まちなかの拠点となる施設のあり方を考えよう！ パートII

解体 工事

- 2016.5月**
郡中地区公民館解体
- 2016.9月**
工事着工

2018年11月オープン予定

※1 ワークショップ…さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場

オープンまでのスケジュールを確認します

交付金申請や工程検討による全体スケジュールの変更について、事務局から説明がありました。



本建設工事は主に合併特例債を念頭において計画していたが、都市再構築戦略事業を活用することで、対象事業費の50%について国から有利な交付金の支援が得られることになるため、この計画を鋭意策定し、公表したのち、内示を経て建設着工したいと考えている。

＜変更後のスケジュール＞

解体工事	平成27年8月 ⇒ 平成28年5月
工事着工	平成28年1月 ⇒ 平成28年9月
オープン	平成30年4月 ⇒ 平成30年11月

都市再構築戦略事業について

(1) 都市再構築戦略事業

○都市再構築戦略事業の一環として、まちなかに図書館・文化ホール・公民館を建設することで、立地適正化計画に位置付けられた、中心拠点・生活拠点の形成に資する誘導施設の整備等に対して国の支援を得ることが出来るものである。

(2) 背景

- 現在、人口減少と急速な高齢化、経済のグローバル化と産業構造の変化など、我が国の経済・社会は大きな変革期を迎えている。地方都市での人口減少や都市構造の拡散、大都市郊外部での老年人口の急増、大都市中心部での国際競争力低下等、地方都市、大都市それぞれ異なった課題を抱えている。
- こうした状況下で、国土交通省は平成25年4月に都市再構築戦略（リノベーションプラン）の策定に向け「都市再構築戦略検討委員会」を設置した。
- 都市再構築戦略とは、生活の場と経済活動の場を備えた都市の実現に向け、既存ストックの改変・有効活用を図り、ソフト面も含めて地方都市・大都市それぞれの再構築に向けた取組みを促すための指針となるものである。
- 同年7月の中間とりまとめでは、地方都市ではある程度の集住（住居が集合すること）や都市機能の集約立地等の推進、大都市郊外部においては高齢者の増加に対応したまち、大都市中心部では世界を視野に入れた魅力あるまちの創造を推進すべきと戦略が示された。
- 平成25年6月に閣議決定された「骨太の方針」「日本再興戦略」でも、コンパクトシティの実現や都市構造のリノベーションの推進、歩いて暮らせるまちづくりが謳われ、都市構造の再構築が重要視されている。
- また、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために地域の支援体制構築を推進する「地域包括ケアシステム」（厚生労働省）や、「健康・医療・福祉まちづくり研究会」（国土交通省）でも、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを目標としている。
- 併せて国は、これまでの「地方都市リノベーション事業」を拡充した上で「都市再構築戦略事業」に改称した社会資本整備総合交付金による支援を強化することとしている。

スケジュールの変更

(1) 都市再構築戦略事業の交付金と合併特例債の併用

- 都市再構築戦略事業交付金で、対象事業費の半分を見込んでいる。
- 残りの半分以上を合併特例債を財源とする。

(2) スケジュールの変更

- 都市再構築戦略事業の計画を策定するために、約8ヶ月を要することから、建設工事の発注が平成28年1月から同年9月へと変更になり、完成が平成30年1月から平成30年9月になる。
- 公民館利用については、本年4月より解体工事により使用できないので、近隣の公共施設の有効活用をお願いしてきたが、工事延期により解体工事は平成28年度当初となり、来年度1年間は公民館が利用できることになった。再度、広報誌等で市民の皆さんに周知したい。



説明を聞いた後、質疑応答がありました

■基本設計最終案について

参加者 1：ぐんちゅう保育所には子どもが100人以上おり、保護者が車で送迎している。また子育て支援センターの子ども40人も全て車で来る。今ある駐車場をつぶすことになるので、その代替案を考えておかなければならない。子育てを支援するのは行政の責務だと思う。

文化ホール、図書館、公民館の施設を一体利用して利用効率を上げることは十分に分かった。図書館法では図書館は無料だが、図書館機能があるこの施設の部屋は全て無料になるのか。それは土台無理な話である。お金を取るなら図書館機能を排除して、文化ホールと公民館の施設になるのではないか。

図書館とホールの境は壁がないので、図書館はやかましいのではないか。カフェやこども図書館、縁側モールではワイワイ言って、文化ホールからも戸を開けたら音が響いてくる。図書館がにぎやかなのはいかがなものか。どのぐらいの音を考えているのか。そこらはきちんと説明してもらいたい。

安田：現状、保育所の送迎時に駐車場が足りないこと、この駐車場を利用して送迎していることは認識しているので、開館後もこの駐車場を利用すれば良い。その動線をどうするかは結論は出ていないが、保育所との境界にルートを作ることや、園庭に出入口を作ることも考えられると思う。郵便局前の広場に停めることもあるかもしれない。その中で、行政側の考え方も調整をしながら検討していくことである。

昨今、人が集まり交流も出来る居場所としての図書館が大事だと言われていて、そういう図書館が増えてきている。設計当初は図書館と縁側モールの間にガラスのスクリーンがあり両者を区別していたが、議論を重ね、今は取ることにしている。伊予カフェ周辺は多少うるさいかもしれないが、静かに本を読みたい人の為のスペースは奥の方にあり、ガラスの部屋で区切られた、ほぼ完全に音を遮られる部屋も用意している。その上で、縁側モールや伊予カフェと図書館のつながりを設計者として提案している。「そうではない」ということであれば、議論していただければ良いと思う。

庁舎建設課：駐車場については、確保できる台数が少なくて苦慮している。ぐんちゅう保育所の送迎は、7時半～8時半までと16時以降からの利用だと思うが、整備される駐車場を活用していただければと思う。足りない部分は今後、多方面と交渉しながら駐車場の確保をしていきたいと思う。

社会教育課：使用料金については、管理運営検討委員会で検討を重ねていくことにしたい。音の問題に

ついて、少しうるさく感じるスペースもあるかもしれないが、静かに調べ物をしたり勉強する場所も確保されているので、そういった中で切り分けて図書館を使っていけるのではないかと考えている。

参加者 2：ワークショップの案内状は「ワークショップ参加登録者各位」となっているが、伊予市広報に入っているワークショップのチラシには、「誰でも参加してください」とある。ワークショップのメンバーが減ってきたから新しい人を入れようという意味合いを持っているのか。

庁舎建設課：当初は登録者のみの参加としていたが、できる限り市民の皆さんから意見をいただいた方が良いと判断して、来られる方皆さんに参加していただけるような形に変えた。説明不足で申し訳なかったが、よろしくお願ひしたい。

参加者 2：私は第1回から参加しているが、メンバーはずいぶん顔ぶれが変わった。小中学生、高校生が全くいなくなった。当初、若い人をたくさん入れて、意見を吸収しようとしたが、いつも間にかいなくなっている。この実態を考えないといけない。「ワークショップは飽きたから適当にやって下さい。」ということなのか、「もう我々のレベルではないから、大人にお任せしましょう。」ということなのか。

この設計案には喫煙室がないが、喫煙室はつくらぬのか。本庁舎の建て替えにおいて、喫煙室はつくるのか。本庁ルールに準じて喫煙室をつくるかどうかをきめていきたい。

庁舎建設課：原則、喫煙は建物外、外気に触れるところで、喫煙室という名目の個室は設けていない。本庁舎では4階の建物外に喫煙場所を指定しているので、建物内では吸えない。1階～3階、5階の人は4階に行くということである。

参加者 3：喫煙に関しては、公共施設は建物内は今禁煙になっている。それで良いのではないか。

参加者 2：この文化ホールでは講演者、お客さんの喫煙については、どう考えているのか。

安田：2階の駐車場の建物寄りの部分を屋外の喫煙スペースに指定している。たばこ吸う人は出演者も見る側の人と一緒に吸うのが原則の考え方である。

参加者 2：これで設計が本決まりになるので、最後の意見として真摯に聞いていただきたい。ワークショップも最終段階に入ってきた。今回は基本設計案を最終確認し、実施設計の検討事項を話し合おうというテーマになっている。私は前々から言うように、この建物の外観については反対する一人である。理由として、この地域環境にはこの建物はマ

ツチングしないこと、上層空間の活用が十分配慮されていないことである。私一人かもしれない。そこで私としては最終提案をしたい。この提案を客観的、将来的に見た問題の設計変更を提案するが、真摯にかつ冷静に検討願いたいと思う。つまり設計にあたって、現状認識が十分なされていないと言える。公民館の現状という、行政がまとめた実績がある。これは26年7月7日に発行された資料である。ここに大部屋の利用、つまり第1会議室、第3会議室、視聴覚室は1年間で300件以上ある。これを日に換算すると1日1件は必ず使っているという部屋になるが、これらの部屋を1/3に縮小している。これは従来からの利用者の愉しむ場所が限定され、混乱の元となりうる可能性がある。この大部屋は踊って歌って囲碁を打って、大勢の人が利用する場所であり、これを減らしては本来の公民館の機能を大幅に失う結果となる。そこで外観設計を変えない前提で、内観の設計を次のように変更することを提案したい。これで本来の機能の十分条件とは言えないが、概ね満足できる範疇に入らと思う。1階について、リハーサルルームの機能として残すのではなく多目的化とする。会議もするし踊っても歌ってもできるような多目的ルームとして利用範囲を広げる。これは年間何件使うか予想がつかないが、利用はかなりあると思うので、これを大部屋として使えるようにする。それから2階部分の学習コーナーを廃止する。この学習コーナーとアトリエ4を一体化し、会議室と和室を併設する。そうするとここに大型の会議室、16

畳の和室が取れる。そうすると従来と同様のものが作れる。この学習コーナーは本来の目的から逸脱するものであって、誰が、いつ、どのように活用するのか予想出来ない。この部屋は空調がないので冬は寒くて夏は暑く、春秋は風が通らない。長時間の使用は無理として考えておく方がベターではないかと思う。そして和室15畳をアトリエ4に振り替える。アトリエ1の会議室の東側の吹き抜けはフロアにする。それによって従来の公民館の機能として、99%は満足する結果が得られるのではないかと私は確信している。

安田：少し誤解されているので補足説明したい。今回の公民館の設計の特徴は、会議室にしか利用できない部屋は作らないようにしている。音が出せたり、水回りがついていて絵画教室が出来たり、壁際にキッチンがついていて、料理教室にも使えるなど、部屋に機能を足しているんな用途に使えるようにしているが、そう使わなければいけないとは一言も言っていない。水回りがある部屋を会議室として使っても良く、そうやって利用率を上げる方が良くって設計をしている。今、平行して市役所の建設が始まっているが、市役所の中にも夜間や土日など、閉庁している時には開放されるゾーンが確保されていて、その中でもずいぶん会議室として使えるようになっている。そういうことを考えると、現状よりも使えるスペースが拡大しているし、今まで出来なかったことも出来る形になっているので、ご理解いただきたいと思う。

■スケジュールの変更について

参加者5：交付金を想定した日程を遅らせてでもするメリットは？合併特例債の利用と比べて、どれだけのメリットがあるのか、簡単に教えてもらえれば納得が行く。

庁舎建設課：当初は、対象建設工事費の95%を合併特例債を活用して建設していく計画だった。合併特例債というのは、7割を国にみていただいて3割を市が返すという特例債でかなり有利な起債である。簡単に言うと10億円の費用の場合、7億円を国にみていただいて、3億円を市が返すという予定だった。

都市再構築戦略事業制度が実施されたのは今年の8月1日からであるが、これを活用することによって今のところ、対象事業費の半額はみていただけるという見込みを立てている。例えば10億円の費用の場合、半額の5億円を都市再構築戦略事業の交付金として国にみていただく。残りの5億円を合併特例債を借りてやる。その5億円のうち、7割を国がみてくれるので3割を市が返すということになり、市が返すお金は大きく減るのではないかと想定され

る。この事業を推進することによってまちなかを改めて見直して、どう整備して住みよくしていくかを検討ができる上に、交付金も得られるということでこの事業を選択した。

参加者6：市民会館がなくなって2年経ったが、市民会館がない中でいろいろな事業に難儀をしている。これから建設までの4年間は施設がない中で活動をしないといけないので、市民もいろんな形で困っている。当初は2016年1月に着工して2018年4月にオープンすると市民にも広報した。今日、説明があったが、1月29日の愛媛新聞で8ヶ月遅れることを初めて知った。市民会館がなくなって、早くいろんな施設を造って欲しいということがベースにあるわけで、その努力をするというスタンスを明確にして、なぜ遅れたのかを議会、広報でしっかりやっていただきたい。当初は過疎債でやるという話が、新市建設計画で9月に合併特例債に変わり、今度は違う財源を充てにすると二転三転している。現状では、整備計画を作って国に申請をして、その計画が認め

られれば対象になるということだから、はっきり言う
と空財源である。とりあえず採択されるだろうと
いうことで実施設計に入るが、それを前提に我々も
考えているし、必ず実現させて欲しい。この財源の
裏付けがない中で、慎重に皆さんに理解してもら
うということをお願いしたい。

この郡中地区公民館が今年の4月では使えなくな
り8月に解体と言われており、代替施設を早く決め
て欲しいと要望していたが、1年近く使えること
になりホッとほしてはいる。しかし恐らく1年後
にも同じ問題が起こる。市民会館がなくなってい
ろんなところを使いたい料金問題があって使え
ないとか、総合保健福祉センターもあるけども、
あそこも何とかならんかという意見も出ている。
これはここでの議題ではないが、代替措置をき
ちんと準備していただくことをお願いしたい。

参加者6：駐車場の有料か無料かについて、先
ほど市の職員が「管理運営検討委員会で決ま
ます。」と言った。公民館や図書館を使うのに
有料の駐車場にするという言い方に疑問を感じ
たので確認したい。

配付された図面に、国道が何m広がって道路幅
が何mになるかの表示がないし、市からも聞
いていない。また国道378の信号の所も道が
広がっているが、どこまでが伊予市の土地で
どこまでが国道なのか。

築港吾川線の梢川の河川敷は埋め立てしてい
るところとしていないところがある。あそこ
はどこの土地で、伊予市が使えるのか。伊
予市で使えるのであれば駐車場も拡幅でき
て、使用できるのではないか。埋め立て地
について市としてどうお考えなのか。恐
らく総合計画に入っていると思う。ここ
に何も描いていないのが怠慢であると感じ
ている。

1月29日の愛媛新聞にスケジュールが決ま
ったと出ていた。これは3月の広報に載
せるのか、載せないのか。このまま行
ったら間に合わない。そういう大事な
ことを我々市民が分からないような
ことではいかなものかと感じている。

社会教育課：先ほどの有料か無料かの話は
駐車場ではなく、部屋の料金のことである。
駐車場についても現在、無料になるのか、
若干の経費を負担していただくかにつ
いては決定していない。ただ駐車場の
使い方や料金についてはワークショップ
の中でも話が出ているので、それらも
参考にしながら今後、管理運営検討
委員会の中で協議をしていくことにな
る。管理運営検討委員会は現在、4
回の委員会を開催している。今後、
開館に向けて検討していくことにな
るし、開館後も様々な問題解決のた
めに、名称は変わるかもしれないが、
検討を続けていくことは大切だと思
っている。

庁舎建設課：国道378号の拡幅につ
いては、基本的には車道は現状の2
車線のままで、今、片側にしかない
歩道を両歩道にする。用地買収の区
間は、郵

便局の躯体から差し掛けが出ている
が、その部分程度が歩道になる計
画である。

梢川は市の管理河川であるので、
市の考えで蓋をすることは可能
である。国道56号から国道378
号までの間で蓋が出来ていると
ころ出来ていないところがある。
今回のJRの踏切を広げると同時
に、開いている部分の河川につ
いては、ボックスカルバートで
蓋をしていく計画をしている。

スケジュールの変更については、
市民の皆さんにご説明をするよ
う、3月広報に載せるように準
備している。

参加者6：JRの線路は高架にする
のか、地下にするのか、そのま
まで行くのか。

庁舎建設課：今回の改修は平面交
差である。現在は踏切の幅が3
mと非常に狭いので、それを平
面交差の7mに拡幅する計画
である。ただ、市の街路計画
では国道378から国道56号間
をJRと平面交差しないう形、
アンダー計画を持っているの
で、今回の踏切を広げるJRと
の協議は、臨時的に広げさせ
ていただく形になっている。

参加者7：都市再生整備計画の
資料作成時に、この基本設計は
完了しておく必要があるのか。
図面は差し替えて済むのか。そ
れによってスケジュールが変
わると思う。

庁舎建設課：都市再生整備計画
とこの設計の兼ね合いはある
が、図書館、文化ホールの設
計が出来ないと都市再生整備
計画が立てられないというも
のではないので、平行して進
められると考えている。

参加者6：都合があってしばらく
参加していなかったが、最後
なので今日は顔を出した。伊
予カフェの説明時に自販機の
話があったが、現時点では喫
茶コーナー的なものを考えて
いるのか、談話室的なことを
考えているのか、飲食がある
のか、その辺りで意味合いが
変わってくると思う。談話
室にすれば図書館では話し
声が聞こえるようになると思
う。

郵便局側の前の駐車場に関
して、普段は芝生にして必要
な時に駐車場にすることだが
、前提条件として、どのよう
なことで設計されるか。例え
ば月1回程度におさまるこ
とを前提にしているのか、し
ょっちゅう芝生を踏み倒す
のか、その辺りでコスト&
フィーが変わってくると思
う。

図書館閲覧席数はどのくら
いあるのか。奥の方にサイ
レントな部分があるというこ
とだが、例えば円型のところ
は隣との間に衝立があって、
かなり集中的に勉強なり読
書なりが出来るといふこと
なのか。

駐車場を例えば3階建てに
して、駐車台数を3倍にする
といふことは不可能なのか。

ファシリテーター：ステップ6
でお答えすることとし、次の
ステップに進めさせていただ
きたい。

実施設計に向けた検討事項を洗いだそう

実施設計に向けて、気になる点や検討事項をポストイットに書き出し、全体の場で設計者と確認しました。

前面広場について

- 外部広場の計画について、特に支障はないのでは。
- 外部広場の利用は、どんなことを考えているのか。
- 入口側の駐車場を駐車場として利用する頻度は？（設計前提条件）
- イベント広場にステージは造れないか？
- 前面エントランスは特別な時以外は車は停めずに、お客さんを迎える広場として使いたいですね。イベント的に限定した駐車利用にしてはいかがでしょう。
- 広場部分に緑のスペース、植栽を増やす。周り、周辺に植樹しては。
- この道路、子どもも通るし、やはり危ない気がします。

安田：この広場をどういう風に使うのか。基本的には駐車場にしない考え方にすると、前面道路の安全性向上にも寄与するのではないかと思います。最初の頃に、前面広場のイメージを皆さんに出していただいたが、駐車場という機能的なことよりも、施設の延長の屋外スペースとして、公園的なイメージがあることが強く出ていたので、今はそちらの方向に進んでいる。この施設の駐車場及び周辺の駐車場を使っても駐車スペースが足りないことは、年に1~2回ぐらいのことではないかと考えている。そうすると普段は駐車場としては使わないで、公園として利用するのが良いと思う。



どのように使うのかを検討していただきたい。

伊予カフェ

- 伊予カフェでパチャクチャ話し声が聞こえるのはダメ！
- 図書館内では静かに！一人が話をし、誰も注意しないと連鎖反応、集団心理で収拾がつかなくなる。
- 伊予カフェは喫茶か？談話コーナーか？飲と食が可能か？一般的に図書館内では飲食禁止が普通である。コーヒーを飲みながら本を読む→こぼす→本にシミ。いいのか？
- 伊予カフェは自動販売機にする。
- カフェについては自販機が良い。
- カフェの事が心配である。本を読むだけでなく、たまり場になるのでは？
- 今、あまりにも食べながら読書などが通例となっている。やはりはじめの必要性（今こそ大切？）を感じるので、カフェに図書持ち込みは厳禁。

安田：特に若者達や子育てをしているお母さん達の居場所はとても大事だと思うので、こういう方向で一回、やってみたらどうかと思う。うまく使えなければ閲覧席に簡単に改変できるようなスペースにしている。最近、図書館は変わってきていて、アムステルダム図書館では入口にピアノがあり、誰でも弾いて

良い。「そういうものがあると楽しくてみんな行くよね」「そういう図書館にしようよ」と、みんなで合意しているんだと思う。そういうことが今の図書館に求められているのではないかと思います。

ファシリテーター：今はコーヒーチェーン店では若者が音楽を聞きながら勉強している。あれは行く場所がないことだけでなく、そういうおしゃべりなところに行って勉強したいという気持ちもあるんだと思う。今の子どもが来くなるようなものを、どうつくるか。交流も出来て勉強も出来る新しい場が必要ではないか。また最近では音楽を流して、その音楽より喋りが気になるようなら注意するということもある。工夫の仕方があるので、その辺も含めて検討していただきたい。



どのようにこの場をうまく活用できるのかを検討していただきたい。

図書館

- ゆっくり本を探せるような空間、ソファor丸いすなど。
- 開架閲覧室の棚は低くして、全体を見えるように！（大洲の図書館が良かった。）
- 図書館にはパソコンをどのくらい設置できるのか。
- AVコーナー、PC利用コーナーは設置しないのか？
- 図書館閲覧席の幅は概ねどれ位。隣の席との間についてたてがある席もあるか。
- 本を探す管理PCと人と本をつなげるための仕事（図書館コンシェルジュ）、スタッフの配置
- 夜間、休館日に本の返却がしやすいよう、市道（築港吾川線）の横に返却ポストを作ってほしい。西側玄関にもね。

安田：席数は2階の学習室も含めて240席程度である。奥の卍型のスペースは、衝立で囲われている。窓際にはカウンター席を設けている。ある図書館では衝立を貸して、自分の席として区切れるようにしているところもあるが、基本的には衝立はいらないと考えていて、ラインを入れるぐらいが良いと思っている。インターネット接続のパソコンは予算の関係もあるので数台を、AVコーナーの一角に置くことを考えている。

「図書館は建物ではなくて人だ」というぐらい人との関係が大事である。設計ではカウンターにいる人に話しかけやすいように配慮している。

夜間の返却ポストは、広げれば広げるほど回収するの手間やコストがかかるので、計画では管理事務室横の出入口に1カ所設けている。夜間、車で来ても返しやすい位置になっている。

トイレ

- トイレのウォッシュレットの割合はどの位でしょうか。
- トイレ内の荷物をかけるフックの位置と数。車いす用は低い位置が良い。
- 日本一のトイレを。見学に来るように。
- こどもトイレは2個で大丈夫か？

安田：こどもトイレの数は妥当だと思う。こども図書館の近くに設けているが、足りないときには他のトイレに行くということになると思う。臭いのもあるので、壁や窓などについては検討中。ウォッシュレットの数は未定。

庁舎建設課：新市庁舎では、多目的トイレにはウォッシュレットを設置しているが、他はウォーム便座を採用している。



今後、検討する。

設備

- 携帯電話BOXを1Fと2Fに…。大洲の図書館にはあります。
- スタジオやリハーサルルームなどのどこかを鏡張りにする。

安田：大きな図書館では携帯電話ボックスを設けるが、今回の規模の計画で必要だろうか。Wi-Fiを入れるかどうかは行政と運営側で決めることになる。

リハーサル室の一面はダンスなどをするので鏡貼りにする。

出入口

- 正面玄関を変更してほしい（ロビー方面）。出演者の事をもっともっと考えてほしい。

参加者：リハーサル室を使う場合の動線が悪い。大きな荷物を持ち込むので、ロビー横の非常用出口にタクシーを付けて、非常用出口から入れるようにしてほしい。設計者は搬入口の近くに楽屋があるとおっしゃったが、ステージは大きすぎて使えない。

安田：市道にタクシーを横付けすることは可能。ロビー横に車を停めるスペースが確保できるかは確認する。



ロビー横の外部スペースを確認する。

ホール

- 座席は400席以上ほしい。



これまで議論を重ねてきたので、この計画で進めさせていただきたい（380席程度）。

備品について

- リハーサル室にフルコン*2サイズのグランドピアノを入れて欲しい。ステージの2台はピアノの演奏にも活用できるように対応できるとよいと思う。
- 必要最小限にすること。
- 備品類は障がい者、高齢者、子どもでも使える、調節できるデザインのものを使ってください。
- 市民の文化活動のため、コピー機、印刷機のコーナー、市民活動の交流のためのチラシ、ホワイトボードなどの設置をどうするか。

安田：フルコンサイズのピアノについては、予算の中で考えるしかない。

コピー機は料金を取るため、事務室のそばに置くのが良いと思う。2階にサポーターズルームという、運営に協力する市民のスペースを用意している。ここに置くことも考えられる。

会議室に置く机や椅子は、なるべく軽く動かしやすいものにする、どの部屋でも融通できるように同じデザインのものを用意するなどの配慮をしたい。

ファシリテーター：どういう体制で運営するかに関わるので検討していただきたい。



ワークショップだけでは議論できない細かい話になるので、別途、検討の場が必要である。

駐車場

- 保育所、子育て支援センターの保護者、子ども達が駐車場を往復するための安全を確保する（安全に行き来出来るように配慮した設計を。）。
- 駐車場を立駐にして、駐車台数を3倍、4倍に出来ないか。
- 立体駐車場のイメージがわからないので、パース等で表現してもらいたい。
- 駐車場として、EV車専用の駐車場は考えていますか（2～3台専用）。
- 駐車場はオープンで、保育所の送迎等に使用してほしい。
- 近所の人、電車に乗る人で車を置きっぱなしにする人が出る可能性があるので、駐車場の管理を厳格に。チケット方式で2時間だけ無料にするなど。

安田：駐車場は2階に床が1枚あるだけなので、そんなにうっとしいものではない。これが3層、4層になると存在感が出てうっとしくなると思う。2階は露天になっていて、床はコンクリートなので1階は照明を付けることになる。2階の床が道路につながっていて、2階から落ちないように手すりを回す。外灯を何本か立てることになる。この駐車場の階層を増やすと、保育所に光が落ちなくなってしまう。

*2 フルコン…フル・コンサート・ピアノの略

全体

- ・建物全体のイメージがだいたいわかってきた。
- ・計画は妥当だと思う。
- ・施設全体の考え方として、おじさん達のエゴで自分勝手な施設にせず、若者、女性、子ども達使いやすい、使ってくれる施設にしましょう！
- ・基本設計終了後の実施設計にあたり、市民へのコンセンサス*³は得るのか。
- ・室の名称を分かりやすく変更すること。

安田：部屋の名称をスタジオとしているのは、使用目的を限定しないよう、多目的に使える部屋という意味でそうしている。

ホワイエとはホールのロビーのこと。ホールの開演前や幕間に使うスペースで、ロビーよりも1.5mぐらい高い位置にある。



室名は今後、検討すれば良い。

テラス

- ・テラスは必要か？外から入れない。



外気に面しているなので、換気として利用できる。

多目的スペースの机や椅子の考え方

- ・多目的スペースの204席、その机、椅子は倉庫に入るのか？他の場所から運ぶのか？

安田：この施設に全てを置くのではなく、必要な時には他から運ぶことを考えている。駐車場に面して扉があるので、車での搬入がしやすくなっている。



必要な時には他から搬入する。

図面の表示について

- ・道路幅、国道378号、市道築港吾川線の拡幅予定を図面に入れて欲しい。



承知した。

スケジュールについて

- ・都市再生整備計画優先やむなし。
- ・スケジュール変更について。景観計画と都市再構築戦略事業とはどのような関係でしょうか。

庁舎建設課：同じD I D地区（人口集中地区）、同じ場所での計画だが、関係づけてはいない。

学習コーナー

- ・学習コーナーは不要という意見がありましたが、必要です。子ども、学生が使える施設にしましょうよ!!

安田：20年ぐらい前には学習コーナーはいらないという強い意見もあったが、最近は併設することが増えてきている。空調もきちんとする。

調理室の配置

- ・調理室で作った料理を、廊下を通らずに試食室に運べるといいと思います。

安田：多目的室での試食ということだと思うが、調理室には両側に炊事場があって、試食はこの場でするように計画している。安全性を考えて、IHキッチンになると思う。

運営

- ・利用運営はケースバイケースで。
- ・利用運営については、利用時間はできるだけオープンをお願いします。運営スタッフは市民サポーターでも可
- ・各室の利用を有機的にできるような施設に。
- ・利用料は市民が主催するものについては安くして欲しい。



管理運営検討委員会に伝える。

(参加者から)

前回、前面広場との間の道を廃道にする検討をお願いしたが、検討はしていただけたか。

庁舎建設課：直接、国道378号で県管理道となるが、県に対しての働きかけ、協議はしていないのが現状である。市道として付け替えるためには近隣住民の意見も十分大事なこと。郵便局横の道を広げた上で、こちらにも道路が必要なのかを検討したが、現実性はないと思っている。

ファシリテーター：エントランスから同じ舗装材料でつなげるなど、設計者の気持ちとしては、この道路も含めて一体的に考えているということだと思う。

*3 コンセンサス…議論などを通じて関係者の根底にある多様な価値を顕在化させ、相互の意見の一致を図る過程

実施設計検討の進め方を提案します

設計者及び事務局から、実施設計の進め方について提案しました。



今後の進め方について

● 設計者から

これから実施設計に入っていくが、いろんな皆さんの期待を感じている。設計と平行して、どれぐらい工事費がかかるかの検討もしており、その中でいろんな仕様を決めていくことが実施設計の核になると思っている。設計を大きく変えることは基本的にはないと思うが、その中で相談することがあれば相談させていただきたい。良いものをしっかり作り込んでいきたいと考えている。

● ファシリテーターから

法的なこと、技術的なこと、予算的なことから、設計変更をせざるを得ない話が出てくる可能性がある。残り2回のワークショップで、実施設計の進行状況の報告や、備品類の細かいご意見をいただくことを予定している。

実施設計を進める中で、細かい部分で意見を聞く必要があれば、毎回、ワークショップの後で残っていただいているグループの方がいるので、その方にご意見を聞く場を持つこともあるかと思う。そんな形で実施設計を、残りの時間で詰めていきたい。

● 実施設計のスケジュールについて（参加者より質問）

参加者：全体スケジュールが8ヶ月ぐらい遅れるという話だが、実施設計のスケジュールも変わるのか。

庁舎建設課：設計については変更はない。ただし、解体が28年度にずれ込んだので、実施設計をもう少し充実したものにしたいという話が出た場合は、設計期間を延ばす可能性はある。

● ホールの椅子の検討について（庁舎建設課から）

文化ホールの中で特に市として気にしているのは、ホールの椅子の幅と前の席との離れの寸法である。市民会館は座席幅が43cmで椅子の前後の間隔が83cmだった。近隣の施設では、松前町は幅が50cm、砥部町は幅が55cm、県民文化会館のサブホールは50cmで、大体のところが50～55cmという幅になっている。基本計画では幅が55cmだが、今の設計は幅が52cm、椅子の前後の間隔が95cmである。

2回のワークショップでは、参加者の皆さんに52cmと55cmの椅子に試験的に座っていただいて、ご意見を伺いたいと考えている。幅が52cmの設計で席数が391席なので、幅を55cmにすると当然、席数が減ることになる。



まとめ

最後に、今後の進め方も含めて、「感想カード」を書いていただきました。



良い案にまとまってきている

- 初めの頃から色々意見を出され、どうなる事かと半ば心配していたが、8回目を迎え、行政の方も設計者も、市民の意見を聞き入れまとまってきているのを感じる。市民の声を取り入れた「伊予市」ならではの施設になる事を。※標識、案内板など親しみやすいイラストなど、よろしくをお願いします。
- 全体的に良い方向でまとまっていると思い、安心しました。
- 久しぶりに参加をして、色々着々と煮詰まって来ていて、出来上がるのが楽しみです。カフェについては自販機で結構だと思います。スケジュール変更については結構だと思っています。お金の要らない様に、何からでもするべきだと思う。
- 基本設計としては、ほぼ課題は出たのではないのでしょうか。前面広場は「公園」として、まちの緑のスポットとして存在感があるようにしてほしい（まちに公園がない。）。伊予カフェはこの位置で考えてみましょう。運営方法は将来、可変することも含めて試験していくことで。運営委員会での議論も含めて、実施設計で備品、収納スペースなど、細かい点を詰めましょう。
- 設計がほぼ固まって来たようだ。早く実施設計に向けて進む事を求めます。県下の図書館が出来る事を願っています。市民へのPRを。資料提供を的確に配付願いたい。
- 設計も煮詰まってきて、いいものが出る予感がします。オープンが遅れるのは残念ですが、財政的なことを考えるとこれも仕方ないと思います。人が気楽に集まれる施設ができるのが楽しみです。



感想

- 長期間にわたる建設市民ワークショップ、大変ありがとうございます。大変勉強になっております。
- 文化ホールの具体性が出てきたこともあって、身近な事だと実感出来るようになった。ただ工事が遅れてしまうことで、現状とはまた違った課題が出てくるのかもしれないということに少し不安を感じます。せっかく良い案がたくさん出ているので、少しでも実現出来るように行政と市民が協力し合って話が進めばいいなと思います。



ワークショップの進め方

- くり返しの議論が多く出るが、交通整理をしては如何？時間がかかりすぎる。又、個人的希望を述べて、あたかも一般的であるかのように装う人がいる。市民の設備とした、大所高所での意見を取り込んで進めて欲しい。
- 毎回、同じ方が同じ内容を質問（意見）し、それに対して事務局が回答するというところに多くの時間を費やしているため、時間ももったいない。ワークショップは様々な意見、立場の方が関わっているのだから、どなたの意見であっても一つの意見として対等に扱うべきではないだろうか？
- もっと分かりやすくしてほしい。モニターで移したイメージ図などはイメージがしやすくよかった。できるのが楽しみです。おそいのでまとめて話をしてほしい。
- 長時間おつかれさまでした。大事なことかもしれませんが、前回の振り返りに時間をかけすぎて、本題がかけ足になっていると思います。前向きな意見でないと、子ども達は参加できないと思います。
- 建物については全体にイメージできるようになった。料金（使用料）をはじめ、各室の利用については、なかなかむずかしいところがあるが、問題があれば改善することを前提としてとにかくスタートすること。同時進行しているらしい運営委員会の様子がわかればいいのか？



市政について

- 今頃、少子高齢化と言われるが、S45年度以降から全国の出生率の減少が目立っていたにもかかわらず、当時の政府は高度成長政策に突き進んでいたと思う！所得倍増がメインであった！市の目標も市民には無関心で、平々凡々の市政で長期市政の為か？超保守的で伊予市の独自性がない！今頃、建設ラッシュはどうか？将来（子ども）的に負の財産となりうる。今後もこのような市政か？仏作って魂入れず！建設物が最大限に活かされる様に！あとでしまったと思わない様に！



計画案について

- ホール横のお手洗いについて、ステージ内容でしきりを動かす事が出来るのは大変良いと思いました。又、図書館内の伊予カフェについて、三世代の交流の場や、小中高生の居場所になれば（良い方向での）いいなと思いました。
P. S. お手洗いは洋式（全て）ですヨネ!!
- 最初と今回で2回目に成ります。最初の意見はくみ取れてなくて大変残念です。先日、先進地視察に行ってきました。特に大洲市立図書館、視聴覚センターが良かったです。地元の本を使用して、寄付の大柱を何本ももらい、それには名前を住所を書く。宝くじ等の寄付でモニュメントを作り、からくり時計を作り、くるりんバスを100円で走らせていて、子どものチャイルドブース、大人の車いす、大人の歩行器（私の考え）、書棚入れ、太陽光（あかり採り）、太陽光発電と自家発電、どちらか。安価で人口減少に対応してほしいです（私の考え）。エレベーターを2階でも作ってほしい。超高齢化社会に成るのは確実です。それと市民からの寄付（歴代の市長、市職員、市議、有志、市民等々）もつのつたらしいです。携帯TELBOXが必要。新聞閲覧、電話帳、大活字本、朗読、親子トイレ、パッケージ（学校等に1ヶ月間貸す）、コインロッカー（返金有）、バーコード（ICチップ）、盗難防止、一桁になっている、5月連休明け10万人イベント有予定、バリアフリー（車いす対応）、エレベーターがないと車いすの人たちは2階に行けない。学芸員も必要。私、出演者の立場で書くと、ロビーに玄関を変更してもらいたい。今の玄関は狭すぎる。タクシーで乗り入れが出来る様にしてほしい。ウッドデッキの所に桜の木を植えてほしい。調理器具をIHにしてほしい。茶室も和室に区切りで作ってほしい。これからの子ども達に誇れる施設にしてください。
- 学習コーナーは冷静に考えると、小学生の下校が15時、中学生が16時前後であり、月～金の使用は皆無と見た方がよい。土日については立派な図書館があることだし、そちらを使うのが本来的だと思います。さらに長期的に見て、吹き抜けからの転落事故、物の落下事故も十分に予想しておく必要があると思います。
- 参加者が減っているのが残念。発言内容が設計に反映されることを望む。



運営について

- カフェを設置して憩いの場とすることに反対はしませんが、設置場所およびカフェの営業内容等を考えてほしい。図書館はあくまで“図書館”の思想はくずしてほしくない。各種トラブルの責任の所在を明確にした方がよい。
- 利用、運営についての案。カウンターでは、図書館、文化ホールの窓口ということで、図書館分野としては人と本をつなぐための仕事（図書館コンシェルジュ）スタッフを配置し、様々なジャンルの本の紹介ができるようにする。本を探す管理PCを併用。文化ホール分野では、文化ホール使用手続き業務だけではなく、生涯学習支援に市民活動支援、青少年活動支援の相談、助言をし、運営にむけてのお手伝いができるスタッフを配置する。もったいない本コーナーでは古本を自由におくだけでなく、各種多様な情報発信、情報交換をする伝言板を設置。日頃、本とあまり接点のない人、自分から積極的に本屋、図書館に行かない人々に本を手にとってもらいたい。本は愉しんで読むものという思いから、本の見せ方の工夫（並べ方）、（面白みのある並べ方）、分類、枠を超えた並べ方を。
- 最終の建設計画が見えて来ました。どうかよい文化ホール、図書館、公民館として下さい。期待しております。運営方法も別途検討されるようですが、保健センターでは会議により、許可者が異なることが生じていますが、このような事をしたくありません（3者1体管理を目指す。）。伊予カフェは黒字経営の見通しが立たない限り、中止を検討する。赤字は市民として困る。また部屋の呼び方は固定にすると、その方面の利用しか出来ない。各目的利用が出来ると聞いて安心しましたが、設計者の理想（夢、希望）とすることを形にして下さい。よろしくお願ひいたします。老人福祉センターは別途計画（建設）は費用的に負担になりませんか？WSは終盤に近づいてきましたが、決定した事項、検討事項等を毎回配付される備忘録にまとめておいて欲しかったと思います。そうすることにより、WSの効率化が出来ると思います。

